

思います。

ただ、そんな方は少数ですが・・・

とちのみの利用者の方は若くてあまり現実味のない話しだと思います。しかし、今から少しずつ親離れ子離れして行ってください。とちのみもその中の一つですが、お子様たちの委ね先をたくさん増やすことが大事です。若いうちから親離れを始めた人は、親から離れて暮らす時、さほど苦労しないで現実を受け入れられる強みを持つことができます。

例えば、やえざくらの利用者の方のお母さんは 80 代 90 代の方も多く 60 歳を過ぎたお子様を「私にとっては子どもは子どもなんです」とおっしゃいます。お気持ちは良くわかりますが、「私たちにお任せください」と伝えていきます。

とちのみのお母様たちにも、「ぜひ、とちのみ職員にお任せください。」と伝えたいです。

個々の職員の力は不足する部分もありますが。みんなでチームとして互いをおぎあいながらしっかり関わっていきます。不安、心配はあると思いますが、とちのみの利用者の方が将来辛い思いをなるべくしないようにと思ひましてもう一度お伝えさせていただきました。



「やえざくら通信」に掲載された貴嶋管理者の「親って何者？」を本誌に転載しますので、ぜひ併せてお読みください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

有澤 浩子



すし 銚子丸

出張回転寿司・出張寿司

1 年間、日々の活動やお仕事を一生懸命頑張ってきた皆さんへ、感謝と労いの気持ちを込めて「出張回転ずし」を開催しました。

目の前でプロが握る本格的なお寿司に、参加した皆さんは大興奮！「美味しい！」「お疲れ様！」とお互いを称え合いながら、お腹も心も大満足の笑顔溢れるひとときとなりました。

